平成 25 年度実施 新規事務事業マネジメントシート 作成日: 平成 25 年 1 月 28 日

事		務事業名		道の	駅運営	団体支援	(保冷庫導	[入補助)事業	事	事後(中間)評価対象事業			
糸	念	政策	策名	0:3						産業振興課		林務商工観光担当	
言	+	施策名				生産基盤の			課長名	髙橋 好雄		ョ 手塚 正裕	
	_	算科	目	会計		項		事業コード	名 関係法令・ 条例等				
事業期間		√ <u>i</u>	<u>↓</u> 单年度0	りみ	単年度組織	L 繰返 (開始年度	年度)	期間限定(年度~	年度)			
1 概要 道の駅「湧水の郷しおや」は、昨年6月にオープンし約7カ月が経過し、その間、地域特産物販売施設(農産物直売所・農レストラン)において、商品の品質向上や供給体制の充実などの必要改善点が出ている。 運営主体である町が予算の範囲内で、委託団体に対し補助金を交付することで施設内整備の支援を行い、当施設の利) 者および販売額の目標達成を図る。 また、支援により農産物の流通促進や郷土料理の提供拡大に繋がり、当駅ブランドカのアップや地場農業振興と地域活化の充実を図る。 なお、今回は農産物直売所における販売農産物の品質維持のための保冷庫の導入事業とする。(日持ちする野菜・加工を入れる) 2 概要事業費 補助金 500,000円 ※事業主体はJA 購入する保冷庫は110万円(3坪 3.6m×2.7m) ※補助金額は、事業費の1/2以内とし、500千円を上限とする。											、当施設の利用振興と地域活性		
(1) ①	事活	務事	業の 計画	目的と打	盾標 量•大:	きさ・規模	等)		4) 活	動指標(事務事業の活動量)	を表す指標)		
)出	荷島	農産物	カのせ	曾加	主 八	C MIX	4 7		→ ア保	動指標(_{事務事業の活動量} 名称 冷対象農産物		単位 品目	
対農	② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 対象委託団体 農産物生産者								イ ⑤対	イ ⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 → ア対象委託団体数 ✓ ゴの即直帯所への出荷字数			
3) 目標(この事業によって、対象をとうしたいのか記載) 農産物直売所の来店客数の増加 農産物直売所の客単価額の増加 農産物直売所の販売額の増加 農産物直売所の販売額の増加 とは、対象をとうしたいのか記載) の、成業自標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 「単位 では、対象をとうしたいのか記載) 名称 「単位 では、対象をとうしたいのか記載) 「大きます。」 「大きまます。 「大きます。」 「大きます。 「大きまする。 「大きますます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きまます。 「大きままする。 「大きまままままままままままままままままままままままままままままままままままま										単位 人 円 千円			
					単位	平成2	!4年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度	
注動指揮 / 導		目標値 実績値	品目			40							
/_	12/)	10.124		目標値	0								
			-1	実績値	0								
., -	+ 会	七冊	ア	実績値 目標値 実績値				1					
交	象	指標	ァ イ					160					
文	象	指標	ァ イ ア	目標値 実績値 目標値 目標値	団体 団体 人 人		110,000	1 160 115,000	120,000	125,000	130,00	0 150,000	
		指標	ア: イ: ア:	目実目実目実目 実長 目実 長標値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値	団体 団体 人 人 人 人		103,000 1,000		120,000	125,000	130,00		
			ア イ ア ・	目標値 実績値 実績値 目標値 実績値	団体 団体 人 人 人 人 円 円		103,000 1,000 903 110,000	115,000				0 1,000	
		指標	イアイウ	目実目実目実目実 目実標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標	団体	平成2	103,000 1,000 903	115,000	1,000	1,000	1,00	0 1,000	
	课	指標財	イアーイウ計庫以	目実目実目実目実目実 画支出標績標績標績標績標績標績標績標績標績標績標績	団体 団体 人人人 円 千円 千円	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000	115,000 1,000 115,000	1,000 120,000	1,000	1,00 130,00	0 1,000 0 150,000	
成	は果 事業	指標期源內	イアイウ計庫別地で	目実目実目実目実 国支に方の標績標績標績標績標績標績 出金値値値値値値値	団体	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000	115,000 1,000 115,000	1,000 120,000	1,000	1,00 130,00	0 1,000 0 150,000	
成 投入	は果 事業	指標 財源内訳	イアイウ計庫別地で	目実目実目実目実 画支に方の財標績標績標績標績標績標績 出金債他源値値値値値値値値値値	団体 人人人円円 千円 千円 千円	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000	115,000 1,000 115,000	1,000 120,000	1,000	1,00 130,00 平成28年度	0 1,000 0 150,000	
成	果 事業費	指標 財源内訳 事規 事規	イ・フ・イ・ウ・計庫・美地・一人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実目実目実目実 画支に方の財計 従標績標績標績標績標績 出出賃他期(4人) 値値値値値値値値値値	団体	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000	115,000 1,000 115,000 平成25年度	1,000 120,000 平成26年度	1,000	1,00 130,00 平成28年度	0 1,000 1,000 平成32年度	
人员 人名	は果 事業	指標 財源內訳 事題延人	イ・ア・イ・ウ・計庫・男地・そ・解して、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実目実目実 画支に方の好け迷路計標績標績標績標績標績 出金債 (世) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	団体体 人人人 月 円 千 千 千 千 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500	1,000 120,000 平成26年度 0	1,000 125,000 平成27年度 0	1,00	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0	
人员 人名	果 果 事業費 人件	指標 財源內訳 事題延人	イ・ア・イ・ウ・計庫・男地・そ・解して、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実目実目実目実 画支に方の好け 従務計(A)標績標績標績標績標績 出出債他期(A)時(B)+値値値値値値値値値値値 金金 (B) 数 (B)	団体	平成2	103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500	1,000 120,000 平成26年度	1,000 125,000 平成27年度	1,00	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0	
人员 人名	果 事業費 人件費 ト	指標 財源内訳 事規延人小 財	1 アーイ・ウ・計庫、地子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日実日実日実日実 画支出方の以上に務計(A) (積支出標績標績標績標績標績 出金債他族(A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	団体体 人人人 月 円 千 千 千 千 千 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十		103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500	1,000 120,000 平成26年度 0	1,000 125,000 平成27年度 0 0	1,00	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0	
投入量	果 事業費 人件費 事業	指 財源内訳 事正 夕 財源内	イーアーイーウー計庫実地を一般で、件コースを開いて、実庫支地を一般では、実庫支地を開いて、実庫支地を開いて、実庫支地・	日実日実日実日実 画支出方の以上に務計(A) (養支に方標績標績標績標績標績 出出債(地源(A)) 出し債値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値	団団人人人人円円円円 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千		103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500	1,000 120,000 平成26年度 0	1,000 125,000 平成27年度 0 0	1,00	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0	
成 投入量 投入	果 事業費 人件費 事	指標 財源内訳 事規延人小 財	イアイウ計庫実地を解べ件コー国県地で一貫員業費ス実庫実地で	目実目実目実 画支出方の以け、迷路は (積支出方の以標準減標減標減標減標減 出金債 (単原) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	団団人人人人円円千千 千千千 千千 千十 千十 千十 千十 十十 十十 <t< th=""><th></th><th>103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度</th><th>115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500 平成25年度</th><th>1,000 120,000 平成26年度 0 0 平成26年度</th><th>1,000 125,000 125,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>1,00 130,00 平成28年度 平成28年度</th><th>0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0 0 0 平成32年度</th></t<>		103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500 平成25年度	1,000 120,000 平成26年度 0 0 平成26年度	1,000 125,000 125,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,00 130,00 平成28年度 平成28年度	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0 0 0 平成32年度	
投入量	果 事業費 人件費 上 事業費 人	指 財源内訳 事 財源内訳 事 規	イアーイウ計庫支地を展費を表す、実庫支地を展費員業費の実施を開発している。	目実目実目実 軍支出方の以上で務計(A) 積支に方の以上で標績標績標績標績標績 出金債他源(A) (制度) 金金 (単値値値値値値値値値値値値	団団人人人人円円千千 千千千千八時千千 千千千千八十八十十十八十十十十十十十十十十十十十十十十十		103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500	1,000 120,000 平成26年度 0	1,000 125,000 平成27年度 0 0	1,00 130,00 平成28年度 平成28年度	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0	
成 投入量 投入量	果 事業費 人件費 事業	指 財源内訳 事正 夕 財源内訳 事正	イアイウ計庫支地で飛費員業費ス実庫支地で飛費員業費	目実目実目実 国支出方の以上、路計(A) (積支に方の以上標績標績標績標績標績 出金債他族(A) 出金債他族(A) 出金債他族(A) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	団団人人人人円円千千 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千		103,000 1,000 903 110,000 93,000 4年度	115,000 1,000 115,000 平成25年度 500 500 0 500 平成25年度	1,000 120,000 平成26年度 0 0 平成26年度	1,000 125,000 125,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,00 130,00 平成28年度 平成28年度	0 1,000 0 150,000 平成32年度 0 0 0 0 0 0 平成32年度	

	評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果						
的妥当	らないのですか?税金を投入して、	道の駅は、町が整備・運営していることもあり、道の駅が活性化することが町 民全体の利益に繋がるものである。	□適切		□適切						
性評価	達成するものですか?	Your of the state	□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり						
1/4	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しな ければならないのか?先延ばしにで	道の駅のブランドカアップやイメージアップのためには、繁忙期(夏場)に向けての早急な対応が必要とされる。	□ 適切		□適切						
評価		mr込ま 人筅の00/よが1111よりです。	□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり						
4	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考え たか?将来のコスト増要因に対して	町は売上金額の2%が収入となることから、500千円のためには25,000千円の売上が必要であり協定期間より年:6,250千円となる。繁忙期(夏場)に	□ 適切		□ 適切						
評価	対策が考えられているか?	月:1,000千円の売上増を見込み算 出。	□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり						
公平性	④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公 平性が考慮されているか?	町の産業活性化を目的としていることから、、町振興計画と一致している。	適切		適切						
評価			□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり						
	3 事前評価結果										
	(1)事前評価者として判断した今後の事業の方向性 □ 1次案のまま採択 □ 下記条件で採択 □ 不採択 □ 差し戻し										
(2	(2)採択条件 (3)指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) 【保留】とする ・事前の協議の際、保冷庫導入の検討があったが、補助事業に係る予 算の都合により導入できないので、今後JAで導入願いたい旨、協議済										
	算の都合により導入でさないので、今後Aで導入願いたい盲、協議済 ・ふれあいの里しおや(上平)における導入の経緯を調査する必要があ る。 ・今回当該補助を認めると、他店舗でも同様に備品等が必要となった										
		• ip:	協議書では、売上 置のため初年度)要望すべてに対応する必要が の2%をいただくことになっている。 に限り1%としている。							
				記等を考慮すべき。 、次回の評価会議で検討する。							
4	成果検証		事後(中間	引)評価日: 平成 年	月 日						
事	務事業実施後 の概要										
	(実施しての効 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	え応、問題点、 										
(1) 評価結果(今後の方向性)											
(O)		(良好) □ 可	化二本平	─ 不可(成果なし・中止・計画	画変更必要)						
(2,	· 総評	(3,	指示事項								
			再評価対象	事業							